



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日 東

上場会社名 株式会社MIXI 上場取引所
 コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 木村 弘毅
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 CFO (氏名) 島村 恒平 (TEL) 03-6897-9500
 定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月11日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	154,847	5.4	31,694	34.9	26,600	38.7	26,511	69.2	17,601	148.5
2024年3月期	146,868	0.0	23,497	△20.3	19,177	△22.7	15,669	△14.1	7,082	37.2

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2025年3月期 20,429百万円(183.1%) 2024年3月期 7,217百万円(19.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	255.43	252.43	10.0	12.2	17.2
2024年3月期	99.71	98.56	4.0	7.3	13.1

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 148百万円 2024年3月期 △3,045百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	225,544	181,333	79.4	2,641.26
2024年3月期	207,342	175,730	83.6	2,466.38

(参考) 自己資本 2025年3月期 178,980百万円 2024年3月期 173,411百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	27,476	△14,490	△10,378	108,174
2024年3月期	9,181	△6,852	△15,730	105,688

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	株主資本 配当率 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%	%
2024年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00	7,734	110.3	4.4	4.4
2025年3月期	—	55.00	—	65.00	120.00	8,187	47.0	4.7	4.7
2026年3月期 (予想)	—	60.00	—	60.00	120.00	—	—	4.7	—

(参考) 2026年3月期の配当につきましては、株主資本配当率(DOE)5%を目安にしております。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	0.1	25,000	△21.1	20,000	△24.8	19,000	△28.3	13,000	△26.1	191.84

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) Tech Growth Capital有
 限責任事業組合
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	73,730,850株	2024年3月期	73,730,850株
② 期末自己株式数	2025年3月期	5,967,604株	2024年3月期	3,420,835株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	68,910,259株	2024年3月期	71,031,698株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	118,052	2.7	26,280	35.2	25,934	39.9	16,107	120.1
2024年3月期	114,922	△3.1	19,438	△25.4	18,544	△27.5	7,319	△2.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	233.75	231.00
2024年3月期	103.04	101.86

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	200,110	179,219	89.0	2,628.81
2024年3月期	189,025	175,175	92.1	2,475.69

(参考) 自己資本 2025年3月期 178,136百万円 2024年3月期 174,065百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.5「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。
- 当社は、2025年5月14日に機関投資家及び証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	15
(会計方針の変更)	17
(表示方法の変更)	17
(追加情報)	18
(連結貸借対照表関係)	18
(連結損益計算書関係)	19
(連結株主資本等変動計算書関係)	21
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	22
(セグメント情報等)	23
(1株当たり情報)	27
(重要な後発事象)	28

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	146,868	154,847	5.4%
EBITDA(百万円)	23,497	31,694	34.9%
営業利益(百万円)	19,177	26,600	38.7%
経常利益(百万円)	15,669	26,511	69.2%
親会社株主に帰属する当期 純利益(百万円)	7,082	17,601	148.5%

当連結会計年度の売上高は154,847百万円（前連結会計年度比5.4%増）となりました。また、EBITDAは31,694百万円（前連結会計年度比34.9%増）、営業利益は26,600百万円（前連結会計年度比38.7%増）、経常利益は26,511百万円（前連結会計年度比69.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は17,601百万円（前連結会計年度比148.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① デジタルエンターテインメント事業

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	98,830	94,082	△4.8%
セグメント利益(百万円)	38,520	44,287	15.0%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。当連結会計年度におきましては、「モンスターストライク」は、ARPUが増加したものの、前年に10周年施策の実施があったため相対的にMAUが減少し、前連結会計年度と比較して売上高が減少しております。なお、前年は10周年施策コストの計上があったことや、事業撤退によるコスト削減により、セグメント利益は増加しております。

この結果、当事業の売上高は94,082百万円（前連結会計年度比4.8%減）、セグメント利益は44,287百万円（前連結会計年度比15.0%増）となりました。

② スポーツ事業

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	32,916	40,206	22.1%
セグメント利益又は損失 (△)(百万円)	△125	1,999	－%

スポーツ事業では、 Betting事業、観戦事業への投資を行っております。 Betting事業におきましては、スポーツ Bettingサービス「TIPSTAR」及び株式会社チャリ・ロトでオンライン車券販売高が増加し、前連結会計年度と比較して、売上を順調に拡大しております。観戦事業におきましては、FC東京の物販及び千葉ジェッツのチケット販売が好調であったことや、前年に当社の一部サービス終了による一時的な費用計上があったことにより、セグメント利益が増加しております。なお、千葉ジェッツがホームアリーナとして利用する「LaLa arena TOKYO-BAY」が2024年4月に竣工し、5月にお披露目イベントを実施しました。

この結果、当事業の売上高は40,206百万円（前連結会計年度比22.1%増）、セグメント利益は1,999百万円（前連結会計年度はセグメント損失125百万円）となりました。

③ ライフスタイル事業

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	13,418	14,795	10.3%
セグメント損失(△)(百万円)	△682	△128	－%

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」「mixi2」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」におきましては、注力商材(みてねプレミアム、写真プリント、みてねみまもりGPS)が好調であったことから売上を順調に拡大しております。引き続き海外ユーザー獲得のためのプロモーション及び体制強化への投資を積極的に行っておりますが、売上伸長によりセグメント損失は縮小しております。

この結果、当事業の売上高は14,795百万円(前連結会計年度比10.3%増)、セグメント損失は128百万円(前連結会計年度はセグメント損失682百万円)となりました。

④ 投資事業

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	1,472	5,696	286.9%
セグメント利益(百万円)	105	1,981	－%

投資事業では、当社及び当社の連結子会社において、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行っております。当連結会計年度においては、タイミー株式の一部売却や、出資するファンドの損益取込みを行いました。

この結果、当事業の売上高は5,696百万円(前連結会計年度比286.9%増)、セグメント利益は1,981百万円(前連結会計年度はセグメント利益105百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末と比べ18,201百万円増加の225,544百万円、自己資本は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加、自己株式の取得による減少等により、5,569百万円増加の178,980百万円となり、自己資本比率は79.4%となりました。流動資産は、営業投資有価証券や現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末と比べ15,695百万円増加の169,931百万円となりました。固定資産は、長期貸付金の増加等により、前連結会計年度末と比べ2,506百万円増加の55,612百万円となりました。流動負債は、未払法人税等の増加等により、前連結会計年度末と比べ8,387百万円増加の31,380百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ4,210百万円増加の12,829百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べて2,485百万円増加し、108,174百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は27,476百万円（前連結会計年度は9,181百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益26,434百万円を計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は14,490百万円（前連結会計年度は6,852百万円の使用）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出6,483百万円、定期預金の預入による支出5,081百万円及び貸付けによる支出4,000百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は10,378百万円（前連結会計年度は15,730百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額7,648百万円、自己株式の取得による支出7,480百万円、長期借入金の返済による支出5,261百万円及び長期借入れによる収入9,429百万円によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率（%）	84.0	81.4	83.6	79.4
時価ベースの自己資本比率（%）	73.3	87.4	90.6	99.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	3.1	0.5	0.8	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	44.3	266.2	172.1	257.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 2023年3月期より、「投資事業」を主たる事業として独立区分し報告セグメントとしたことから、2022年3月期につきましては、遡及適用後の数値を記載しております。

(4) 今後の見通し

当社グループでは、『豊かなコミュニケーションを広げ、世界を幸せな驚きで包む。』をパーパスと定め、『「心もつながる」場と機会の創造。』をミッションに掲げております。

各事業セグメントにおいて、SNS「mixi」や「モンスターストライク」で培ったコミュニケーションサービスのノウハウと、AIなど最新のテクノロジーを活用し、サステナブルな収益基盤の構築を目指してまいります。

来期、スポーツセグメントのベッティング事業におきましては、連結子会社であるチャリ・ロト、ネットドリーマーズ両社の事業成長に加え、「TIPSTAR」に関しましては、差別化要素をブラッシュアップさせながら事業拡大に向けた成長投資を推進してまいります。また、観戦事業におきましては、千葉ジェッツや東京フットボールクラブなど観客動員数の増加を推進し事業を成長させてまいります。

デジタルエンターテインメント事業におきましては、「モンスターストライク」の売上高は直近の実績を勘案し、若干の減収を見込んでおりますが、企画・マーケティング強化や収益性改善により計画以上のアップサイドを目指してまいります。

ライフスタイル事業では、「家族アルバム みてね」の国内における事業拡大とともに、同事業のグローバルでの事業成長の実現や「mixi2」の事業拡大を見据え、先行投資を進めてまいります。

また、当社はAIへの投資を推進し、全社的なAI活用を通じて、イノベーションの創出と生産性の向上を加速してまいります。

上記を踏まえた結果、来期の連結業績は、売上高1,550億円、EBITDA250億円、営業利益200億円、経常利益190億円、親会社株主に帰属する当期純利益130億円を見込んでおります。

なお、上記の連結業績予想には、2025年2月26日付「PointsBet Holdings Limitedの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」にて公表いたしました、PointsBet Holdings Limitedの発行済株式100%取得による完全子会社化の影響を含んでおりません。連結業績に与える影響が判明次第、速やかに修正後の連結業績予想を公表いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,910	110,666
受取手形及び売掛金	※1 13,227	※1 15,812
営業投資有価証券	23,620	30,571
有価証券	—	2,807
商品	566	622
その他	11,152	9,692
貸倒引当金	△241	△241
流動資産合計	154,236	169,931
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,845	12,217
減価償却累計額	△1,670	△2,461
建物（純額）	※2 9,174	※2 9,755
工具、器具及び備品	6,926	8,635
減価償却累計額	△4,605	△5,343
工具、器具及び備品（純額）	2,321	3,291
土地	※2 2,699	※2 2,699
建設仮勘定	3,303	4,162
その他	56	152
減価償却累計額	△22	△40
その他（純額）	34	111
有形固定資産合計	17,532	20,020
無形固定資産		
のれん	8,467	7,265
顧客関連資産	4,960	4,284
商標権	2,198	1,937
その他	1,335	1,305
無形固定資産合計	16,961	14,793
投資その他の資産		
投資有価証券	※3 7,391	※3 6,023
長期貸付金	2,745	7,540
繰延税金資産	4,452	3,328
その他	5,090	5,789
貸倒引当金	△1,067	△1,883
投資その他の資産合計	18,611	20,798
固定資産合計	53,105	55,612
資産合計	207,342	225,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	※2 1,090	※2 1,865
未払金	12,101	10,143
未払法人税等	958	7,686
未払消費税等	576	2,203
賞与引当金	1,830	1,816
その他	※4 6,436	※4 7,664
流動負債合計	22,992	31,380
固定負債		
長期借入金	※2 6,341	※2,※5 10,587
繰延税金負債	2,121	1,632
その他	156	609
固定負債合計	8,619	12,829
負債合計	31,611	44,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,662	9,669
利益剰余金	163,190	173,149
自己株式	△10,310	△17,491
株主資本合計	172,240	175,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366	3,070
為替換算調整勘定	803	883
その他の包括利益累計額合計	1,170	3,954
新株予約権	1,109	1,082
非支配株主持分	1,209	1,270
純資産合計	175,730	181,333
負債純資産合計	207,342	225,544

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	※1 146,868	※1 154,847
売上原価	44,238	48,803
売上総利益	102,629	106,043
販売費及び一般管理費	※2 83,452	※2 79,443
営業利益	19,177	26,600
営業外収益		
受取利息	18	67
受取配当金	—	39
為替差益	478	3
持分法による投資利益	—	148
事業譲渡益	—	181
受取補填金	80	—
その他	147	242
営業外収益合計	725	682
営業外費用		
支払利息	57	111
持分法による投資損失	※3 3,045	—
貸倒引当金繰入額	—	135
事業撤退損	930	47
寄付金	—	113
特別調査費用	—	213
その他	200	150
営業外費用合計	4,233	770
経常利益	15,669	26,511
特別利益		
固定資産売却益	※4 11	※4 17
投資有価証券償還益	—	156
関係会社株式売却益	※5 30	—
貸倒引当金戻入額	0	210
段階取得に係る差益	—	89
新株予約権戻入益	6	17
その他	0	0
特別利益合計	48	491
特別損失		
固定資産除売却損	※6 8	※6 14
減損損失	※7 269	0
投資有価証券評価損	※8 2,677	81
貸倒引当金繰入額	131	—
のれん償却額	—	396
持分変動損失	—	72
その他	1	4
特別損失合計	3,087	568
税金等調整前当期純利益	12,630	26,434
法人税、住民税及び事業税	3,571	9,383
法人税等調整額	2,118	△594
法人税等合計	5,689	8,788
当期純利益	6,940	17,645
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△141	43

親会社株主に帰属する当期純利益	7,082	17,601
-----------------	-------	--------

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	6,940	17,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	2,695
為替換算調整勘定	293	80
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	7
その他の包括利益合計	276	2,783
包括利益	7,217	20,429
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,359	20,385
非支配株主に係る包括利益	△141	43

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,698	9,662	177,655	△16,900	180,116
当期変動額					
剰余金の配当			△7,880		△7,880
親会社株主に帰属する当期純利益			7,082		7,082
自己株式の取得				△7,499	△7,499
自己株式の処分		△68		490	421
自己株式の消却		△13,599		13,599	—
利益剰余金から資本剰余金への振替		13,667	△13,667		—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	△14,465	6,589	△7,876
当期末残高	9,698	9,662	163,190	△10,310	172,240

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	383	510	893	1,127	1,324	183,463
当期変動額						
剰余金の配当						△7,880
親会社株主に帰属する当期純利益						7,082
自己株式の取得						△7,499
自己株式の処分						421
自己株式の消却						—
利益剰余金から資本剰余金への振替						—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16	293	276	△17	△115	143
当期変動額合計	△16	293	276	△17	△115	△7,733
当期末残高	366	803	1,170	1,109	1,209	175,730

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,698	9,662	163,190	△10,310	172,240
当期変動額					
剰余金の配当			△7,635		△7,635
親会社株主に帰属する当期純利益			17,601		17,601
自己株式の取得				△7,458	△7,458
自己株式の処分		△6		276	270
自己株式の消却					—
利益剰余金から資本剰余金への振替		6	△6		—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		7			7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	7	9,959	△7,181	2,785
当期末残高	9,698	9,669	173,149	△17,491	175,026

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	366	803	1,170	1,109	1,209	175,730
当期変動額						
剰余金の配当						△7,635
親会社株主に帰属する当期純利益						17,601
自己株式の取得						△7,458
自己株式の処分						270
自己株式の消却						—
利益剰余金から資本剰余金への振替						—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,703	80	2,783	△27	61	2,817
当期変動額合計	2,703	80	2,783	△27	61	5,603
当期末残高	3,070	883	3,954	1,082	1,270	181,333

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,630	26,434
減価償却費	1,445	2,187
無形固定資産償却費	1,535	1,488
のれん償却額	1,338	1,813
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△136
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,018	△13
受取利息及び受取配当金	△18	△106
支払利息	57	111
為替差損益(△は益)	△163	151
持分法による投資損益(△は益)	3,045	△148
貸倒引当金戻入額	△0	△210
貸倒引当金繰入額	131	135
減損損失	269	0
事業譲渡損益(△は益)	—	△181
事業撤退損	930	47
新株予約権戻入益	△6	△17
固定資産除売却損益(△は益)	△3	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	2,677	81
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△156
関係会社株式売却損益(△は益)	△30	—
持分変動損益(△は益)	—	72
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△89
売上債権の増減額(△は増加)	522	△2,570
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△4,041	△2,782
棚卸資産の増減額(△は増加)	△54	△44
未払金の増減額(△は減少)	△2,402	△813
未払消費税等の増減額(△は減少)	△994	1,640
その他の資産の増減額(△は増加)	289	1,112
その他	1,339	1,433
小計	17,475	29,436
利息の受取額	12	92
利息の支払額	△53	△106
法人税等の支払額	△8,253	△1,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,181	27,476

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,081
固定資産の取得による支出	△3,462	△6,483
投資有価証券の償還による収入	—	1,391
投資有価証券の取得による支出	△2,734	△47
貸付けによる支出	△1,800	△4,000
貸付金の回収による収入	1,200	210
敷金及び保証金の差入による支出	△105	△535
敷金及び保証金の回収による収入	8	105
事業譲渡による収入	—	181
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△255
その他	41	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,852	△14,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	204	781
長期借入れによる収入	—	9,429
長期借入金の返済による支出	△558	△5,261
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△201
自己株式の取得による支出	△7,522	△7,480
配当金の支払額	△7,875	△7,648
その他	21	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,730	△10,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	386	△123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,014	2,485
現金及び現金同等物の期首残高	118,703	105,688
現金及び現金同等物の期末残高	※ 105,688	※ 108,174

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 26社

主要な連結子会社の名称

株式会社チャリ・ロト

株式会社ネットドリーマーズ

当連結会計年度において、株式会社piconは株式の取得により、MIXI Australia Pty Ltdは新規設立により、連結の範囲に含めております。

また、当連結会計年度において、Tech Growth Capital有限責任事業組合他1社は清算により、連結の範囲から除外しております。

(2) 非連結子会社の数 5社

(連結の範囲から除いた理由)

株式会社イー・マーキュリー他4社は小規模であり、総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の関連会社の数 5社

主要な持分法適用会社の名称

ビットバンク株式会社

株式会社ハブ

株式会社デコルテ・ホールディングス

当連結会計年度において、株式会社コールドクターは株式の売却により、持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社のうち主要な会社等の名称

株式会社イー・マーキュリー

(持分法を適用しない理由)

株式会社イー・マーキュリー他4社は、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるため、持分法の適用範囲から除外しております。

(3) 持分法の適用の手続について特に記載する必要があると認められる事項

持分法を適用している会社のうち、決算日が異なる会社については、当該会社の事業年度に係る財務諸表を使用しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうちScrum Ventures Fund I, L.P.他4社の決算日は12月末日、東京フットボールクラブ株式会社の決算日は1月末日、AAファンド投資事業有限責任組合他1社の決算日は2月末日であり、それぞれの決算日の財務諸表を使用しております。なお、連結決算日との間に生じた連結上重要な取引に関しては必要な調整を行っております。また、株式会社千葉ジェッツふなばし他1社の決算日は6月末日ではありますが、仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券（営業投資有価証券を含む）

市場価格のない株式等以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

主として移動平均法による原価法を採用しております。なお、投資事業組合等への出資持分については、直近の決算日の財務諸表を基礎とし、持分相当額を純額で取込む方法を採用しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品

先入先出法による原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

主に定率法を採用しております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 2～50年

工具、器具及び備品 2～20年

② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

また、商標権については経済的耐用年数（5～13年）、顧客関連資産については経済的耐用年数（5～18年）、その他の無形資産については経済的耐用年数（5年）に基づいて償却しております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

④ のれん

効果の発現する期間を個別に見積もり、その期間（4～13年）で均等償却しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案して回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき額を計上しております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

当社グループは、以下の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しています。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5：履行義務の充足時に（又は充足するにつれて）収益を認識する

なお、収益に含まれる値引き、リベート及び返品等の変動対価の金額に重要性はありません。また、約束した対価の金額は、概ね1年以内に受領しており、重要な金融要素は含まれておりません。

(5) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は、期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めております。

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20—3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65—2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「協賛金収入」、「助成金収入」は、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示しておりました「協賛金収入」4百万円、「助成金収入」33百万円、「その他」109百万円は、「その他」147百万円として組み替えております。

また、前連結会計年度において、「特別利益」の「その他」に含めて表示しておりました「貸倒引当金戻入額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より、独立掲記いたしました。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別利益」に表示しておりました「その他」0百万円は、「貸倒引当金戻入額」0百万円、「その他」0百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「貸倒引当金の増減額(△は減少)」に含めて表示しておりました「貸倒引当金戻入額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より、独立掲記いたしました。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「貸倒引当金の増減額(△は減少)」に表示しておりました△0百万円は、「貸倒引当金戻入額」△0百万円として組み替えております。

また、前連結会計年度において、独立掲記しておりました「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「有形固定資産の取得による支出」、「無形固定資産の取得による支出」は、重要性を勘案し、当連結会計年度より「固定資産の取得による支出」として表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」に表示しておりました「有形固定資産の取得による支出」△2,993百万円、「無形固定資産の取得による支出」△468百万円は、「固定資産の取得による支出」△3,462百万円として組み替えております。

(追加情報)

(当社連結子会社の役職員による不適切な資金のやり取りについて)

当社の連結子会社である株式会社チャリ・ロトの役職員(以下、「本件役職員」といいます。)が取引先との間で不適切な資金のやり取りを行っていた疑義が2024年10月下旬に判明いたしました。これを受けて、2024年10月30日に外部の専門家から構成される調査チームを組成して調査を行い、2024年12月26日に調査報告書を受領しております。

調査の結果、本件役職員による不適切な資金のやり取りは、前代表取締役は357百万円、元従業員は668百万円、合計1,026百万円となりました。

なお、当連結会計年度に与える影響額については、法人税等の増加も含め、親会社株主に帰属する当期純利益△452百万円となりました。

また、本件における特別調査に係る費用等について、「営業外費用」の「特別調査費用」として計上しております。

(連結貸借対照表関係)

※1. 受取手形及び売掛金のうち、顧客との契約から生じた債権の金額は、それぞれ以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
受取手形	0百万円	一百万円
売掛金	13,226百万円	15,812百万円

※2. 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産及び担保付債務は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
建物	5,050百万円	4,781百万円
土地	2,698百万円	2,698百万円
計	7,749百万円	7,480百万円
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
短期借入金	516百万円	516百万円
長期借入金	6,320百万円	5,803百万円
計	6,836百万円	6,320百万円

※3. 非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
投資有価証券(株式)	4,561百万円	4,650百万円
投資有価証券(社債)	1,235百万円	一百万円

※4. 流動負債「その他」のうち、契約負債の金額は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
契約負債	2,888百万円	4,180百万円

※5. 貸出コミットメント契約

当社の連結子会社である株式会社チャリ・ロトは、事業資金の効率的な調達を行うため、取引銀行1行と貸出コミットメント契約を締結しております。

貸出コミットメント契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
貸出コミットメントの総額	一百万円	9,000百万円
借入実行残高	一百万円	4,700百万円
差引額	一百万円	4,300百万円

(連結損益計算書関係)

※1. 顧客との契約から生じる利益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。顧客との契約から生じる収益の金額は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載しております。

※2. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
広告宣伝費	20,571百万円	17,728百万円
決済手数料	31,061百万円	26,828百万円

※3. 持分法による投資損失

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

持分法適用関連会社である株式会社コールドクターへの投資に伴うのれん相当額について、事業環境の変化を踏まえ、事業計画の見直しを実施した結果、未償却残高のうち1,063百万円を減損損失として持分法による投資損失に含めて計上しております。

※4. 固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
工具、器具及び備品	10百万円	17百万円
その他	0百万円	－百万円
計	11百万円	17百万円

※5. 関係会社株式売却益

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社の持分法非適用関連会社であるミュージックセキュリティーズ株式会社の株式を売却したことによるものであります。

※6. 固定資産除売却損の内容は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
建物	－百万円	1百万円
工具、器具及び備品	6百万円	4百万円
ソフトウェア	1百万円	8百万円
その他	0百万円	0百万円
計	8百万円	14百万円

※7. 減損損失

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは以下の資産について減損損失を計上しております。

事業	用途	場所	種類	金額 (百万円)
スポーツ事業	事業用資産	東京都江東区等	建物	2
			工具器具備品	2
			有形固定資産(その他)	0
			ソフトウェア	20
			商標権	18
			長期前払費用	104
		静岡県伊東市	建物	96
		オーストラリア ビクトリア州	工具器具備品	12
			無形固定資産(その他)	11

継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。また、遊休資産及び処分予定資産については、当該資産ごとにグルーピングを行っております。

スポーツ事業において東京フットボールクラブ株式会社、株式会社チャリ・ロト及びMGB AUSTRALIA PTY LTDにかかる固定資産について、想定していた収益の達成が遅れており、計画値の達成までに時間を要すると判断したこと等により、減損損失を認識しております。

当該資産の回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、これらの資産はいずれも将来キャッシュ・フローが見込めないため零としております。

※8. 投資有価証券評価損

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社の持分法適用会社である株式会社コールドクターが発行する転換社債について、時価及び回復可能性の検討を行い、回復可能性はないと判断したため、帳簿価額と時価の差額2,677百万円を特別損失に計上しております

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	78,230,850	—	4,500,000	73,730,850

(変動事由の概要)

自己株式の消却に伴う減少 4,500,000株

2. 自己株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	5,257,825	2,819,710	4,656,700	3,420,835

(変動事由の概要)

自己株式の取得に伴う増加 2,810,600株
 単元未満株式の買取に伴う増加 10株
 譲渡制限付株式報酬の無償取得に伴う増加 9,100株
 自己株式の消却に伴う減少 4,500,000株
 新株予約権の行使による処分に伴う減少 21,000株
 譲渡制限付株式の割当による処分に伴う減少 135,700株

3. 新株予約権に関する事項

会社名	内訳	目的となる株式の種類	目的となる株式の数(株)			当連結会計年度末残高(百万円)
			当連結会計年度期首	増加	減少	
提出会社	ストック・オプションとしての新株予約権		—			1,109
合計			—			1,109

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年5月12日 取締役会	普通株式	4,013	55	2023年3月31日	2023年6月6日
2023年11月10日 取締役会	普通株式	3,867	55	2023年9月30日	2023年12月11日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年5月10日 取締役会	普通株式	利益剰余金	3,867	55	2024年3月31日	2024年6月11日

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	73,730,850	—	—	73,730,850

(変動事由の概要)

該当事項はありません。

2. 自己株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	3,420,835	2,639,369	92,600	5,967,604

(変動事由の概要)

自己株式の取得に伴う増加	2,639,300株
単元未満株式の買取に伴う増加	69株
新株予約権の行使による処分に伴う減少	10,100株
譲渡制限付株式の割当による処分に伴う減少	82,500株

3. 新株予約権に関する事項

会社名	内訳	目的となる株式の種類	目的となる株式の数(株)			当連結会計年度末残高(百万円)
			当連結会計年度期首	増加	減少	
提出会社	ストック・オプションとしての新株予約権		—			1,082
	合計		—			1,082

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年5月10日 取締役会	普通株式	3,867	55	2024年3月31日	2024年6月11日
2024年11月8日 取締役会	普通株式	3,783	55	2024年9月30日	2024年12月9日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	4,404	65	2025年3月31日	2025年6月11日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
現金及び預金勘定	105,910百万円	110,666百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△221百万円	△5,299百万円
有価証券(MMF)	—百万円	2,807百万円
現金及び現金同等物	105,688百万円	108,174百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「デジタルエンターテインメント事業」、「スポーツ事業」、「ライフスタイル事業」及び「投資事業」の4つを報告セグメントとしております。「モンスターストライク」を主力としたスマートデバイス向けゲームの提供、関連イベントの実施、グッズの制作・販売などのサービスを「デジタルエンターテインメント事業」、ベッティング事業、観戦事業などのサービスを「スポーツ事業」、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」「mixi2」などのサービスを「ライフスタイル事業」、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を「投資事業」としております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載の方法と概ね同一であります。なお、報告セグメントの利益は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)であります。

セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載していません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注) 3	98,830	32,916	13,418	—	145,165	230	145,396
その他の収益	—	—	—	1,472	1,472	—	1,472
外部顧客への売上高	98,830	32,916	13,418	1,472	146,638	230	146,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	98,830	32,916	13,418	1,472	146,638	230	146,868
セグメント利益又は損失(△)	38,520	△125	△682	105	37,817	△18,640	19,177
その他の項目							
減価償却費	156	1,602	246	0	2,005	975	2,980
のれん償却額	—	957	380	—	1,338	—	1,338
減損損失	0	269	—	—	269	—	269

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18,640百万円には、報告セグメントの減価償却費△2,005百万円及びのれん償却額△1,338百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上230百万円、全社費用△15,526百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注) 3	94,082	40,206	14,795	—	149,084	66	149,151
その他の収益	—	—	—	5,696	5,696	—	5,696
外部顧客への売上高	94,082	40,206	14,795	5,696	154,780	66	154,847
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	94,082	40,206	14,795	5,696	154,780	66	154,847
セグメント利益又は損失(△)	44,287	1,999	△128	1,981	48,139	△21,539	26,600
その他の項目							
減価償却費	187	2,333	215	0	2,736	940	3,676
のれん償却額	—	953	464	—	1,417	—	1,417
のれん償却額(特別損失)	—	—	396	—	396	—	396
減損損失	0	—	—	—	0	—	0

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△21,539百万円には、報告セグメントの減価償却費△2,736百万円及びのれん償却額△1,417百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上66百万円、全社費用△17,452百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	デジタルエンターテインメント事業	スポーツ事業	ライフスタイル事業	投資事業	計		
当期償却額	—	957	380	—	1,338	—	1,338
当期末残高	—	7,348	1,118	—	8,467	—	8,467

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	デジタルエンターテインメント事業	スポーツ事業	ライフスタイル事業	投資事業	計		
当期償却額	—	953	464	—	1,417	—	1,417
当期末残高	—	6,395	869	—	7,265	—	7,265

(注) 報告セグメント「ライフスタイル事業」の一部ののれんについて、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(企業会計基準委員会移管指針第4号 2024年7月1日)第32項の規定に基づき、のれん償却額396百万円を特別損失に計上しておりますが、当該金額は上記に含まれておりません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,466円38銭	2,641円26銭
1株当たり当期純利益金額	99円71銭	255円43銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	98円56銭	252円43銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,082	17,601
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,082	17,601
普通株式の期中平均株式数(株)	71,031,698	68,910,259
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	826,831	819,766
(うち新株予約権)(株)	(826,831)	(819,766)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第24回新株予約権 新株予約権の数 945個 (普通株式 94,500株)	—

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会において、会社法第459条第1項第1号の規定による定款の定めに基づき、自己株式の取得に係る事項について、次のとおり決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実を図るとともに、資本効率の向上を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 4,750,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式除く)に対する割合7.01%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 9,500百万円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2025年5月15日～2026年3月31日 |
| (5) 取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

(自己株式の消却)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について、次のとおり決議いたしました。

1. 消却に係る事項の内容

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 2,400,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合3.26%) |
| (3) 消却予定日 | 2025年5月30日 |
| (4) 消却後の発行済株式総数 | 71,330,850株 |